

高齢者の交通死亡事故の特徴

(平成25年12月3日現在)

1 交通事故の発生状況 ⇨ 発生件数, 死者数, 負傷者数とも減少

(平成25年11月末)

区分	平成25年	平成24年	前年対比		
			増減数	増減率	
発生件数	12,793件	13,181件	△ 388件	△ 2.9%	
死者数	94人	111人	△ 17人	△ 15.3%	
負傷者数	16,213人	16,465人	△ 252人	△ 1.5%	
高齢者	事故件数(1当+2当)	4,037件	4,024件	13件	0.3%
	死者数	54人	56人	△ 2人	△ 3.6%

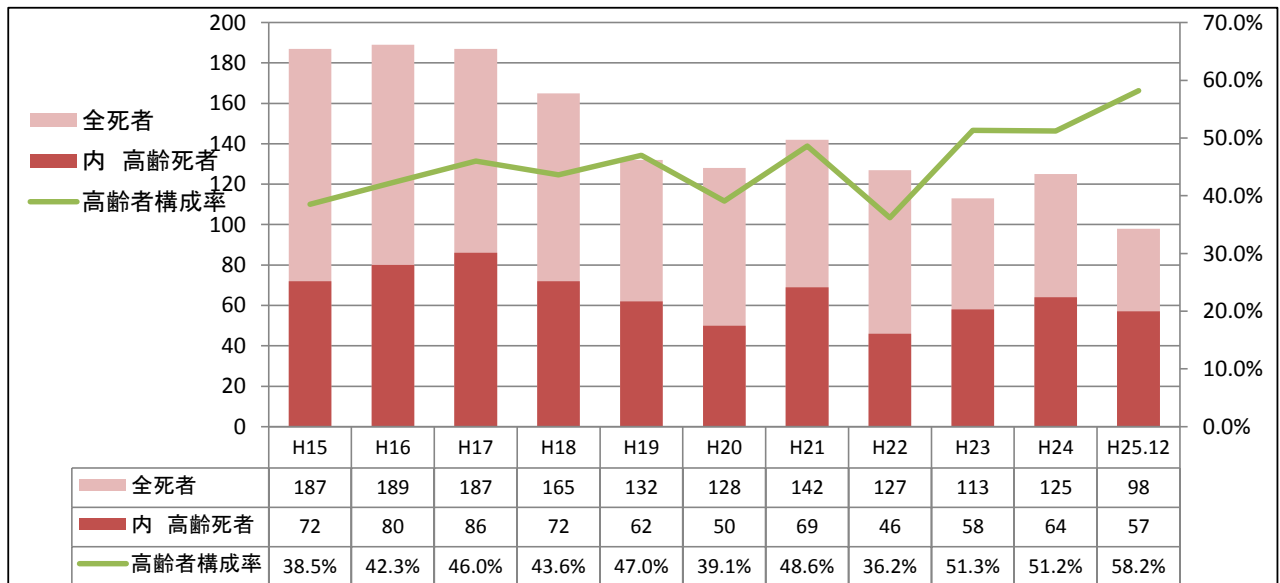
注:「発生件数」「負傷者数」は、事故日報による速報値

(平成25年12月3日現在)

区分	平成25年	平成24年	前年対比	
			増減数	増減率
死者数	98人	112人	△ 14人	△ 12.5%
うち高齢死者数	57人	56人	1人	1.8%

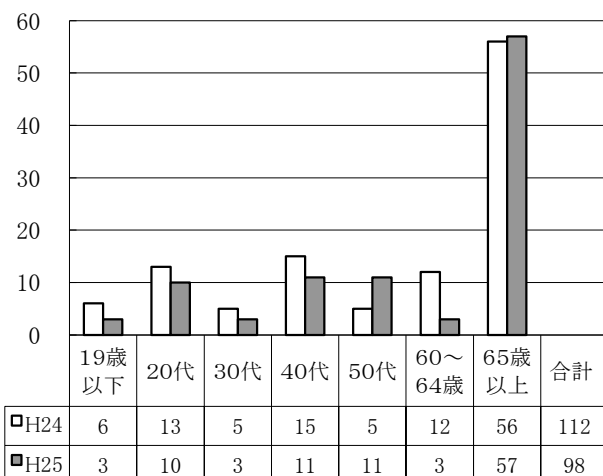
2 高齢死者の推移 (平成25年12月3日現在)

⇨ 平成23年に、高齢死者の構成率が50%を越えている。

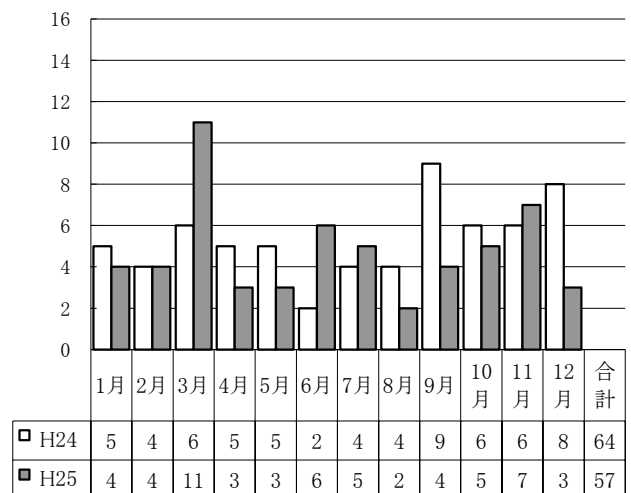


3 高齢死者の特徴 (平成25年12月3日現在)

(1) 年齢別 ⇨ 高齢者構成率58.2%

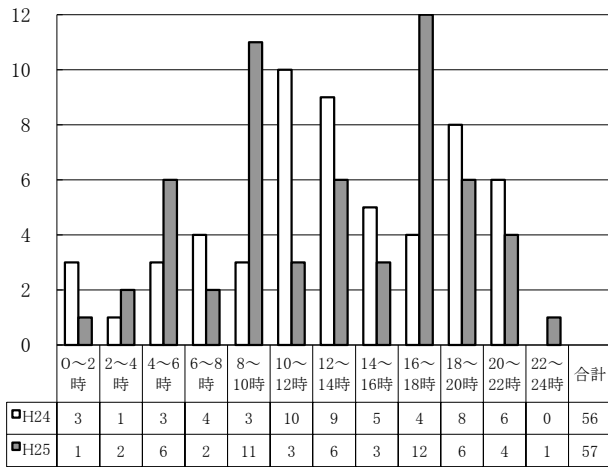


(2) 月別 ⇨ 3月に多発

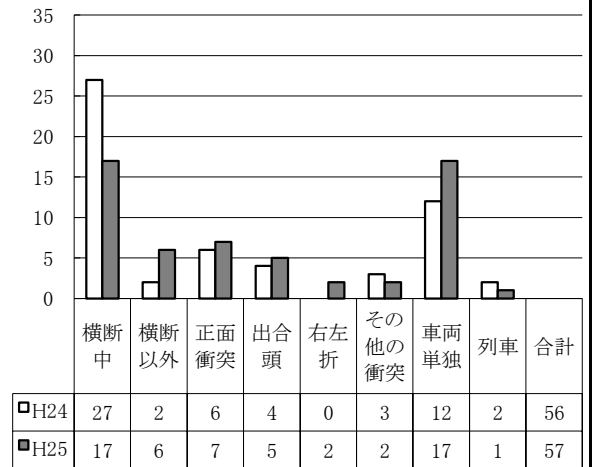


(平成24年は年中, 平成25年は12月3日現在)

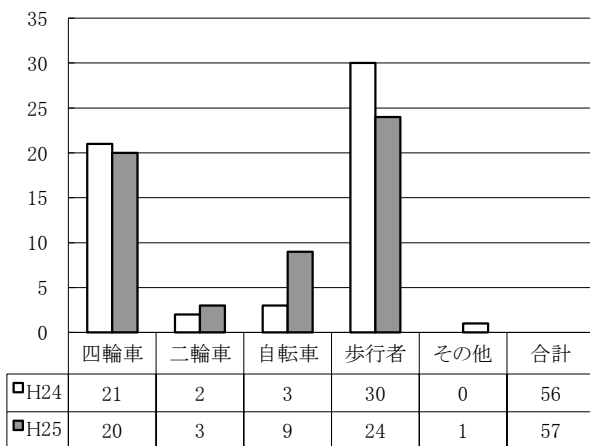
(3) 時間帯別 ⇨ 16時～18時に多発



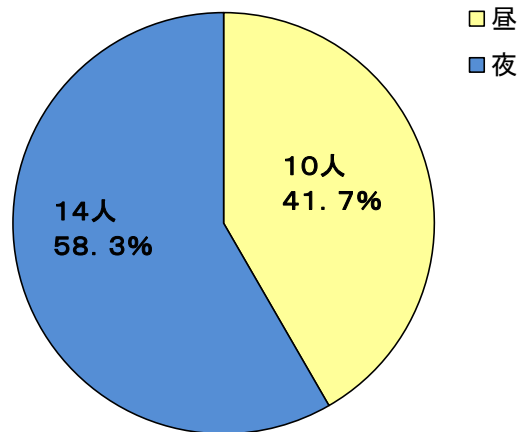
(4) 事故類型別 ⇨ 横断中, 単独事故
各29.8%



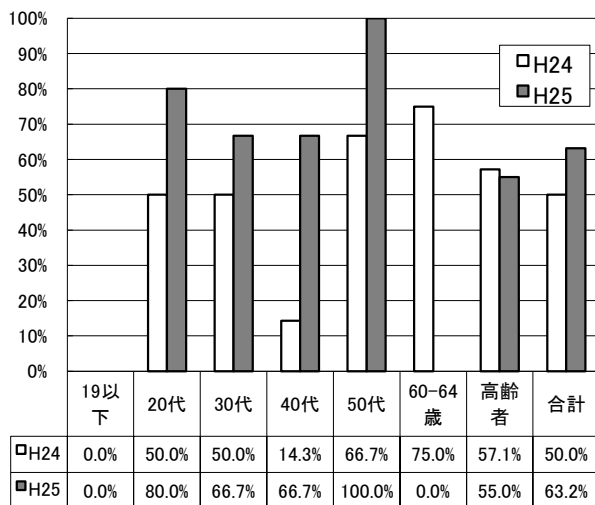
(5) 状態別 ⇨ 歩行者が42.1%



(6) 歩行者の昼夜別



(7) シートベルトの年齢別着用状況
⇨ 高齢者の着用率が低い



(8) 乗車位置別シートベルト着用状況
⇨ 全死者20人の内, 9人が非着用

